

プリにおける発展と教育のためのキリスト教機関 (CODE)

ニュースレター 2024年3月

敬愛する里親の皆さま

わたしたちの主イエス・キリストの御名においてご挨拶申し上げます。里親である皆様とご家族の皆さんにおかれましては、この手紙を読まれる頃も、ご健勝のことと思ひ、またそのように祈っています。2024年が始まり既に三ヶ月が経っておりますが、このニュースレターが2024年最初のものでありますから、プリにおける「発展と教育のためのキリスト教機関 (CODE)」を代表して皆さまに心より新年のご挨拶を申し上げます。皆様とご家族の上に引き続き神の祝福が豊かに注がれますようにとお祈りしています。

気候変動は地球に住むすべての者にとって脅威となっています。環境は変わり果て、「気候」といっても本来の意味が失われつつあります。天候の変化は予測不能となりました。気候変動が及ぼすものは不快なことが多く、気温の上昇、氷河の融解、豪雨、頻発する森林火災などがあります。インドにおける気温上昇による影響のひとつに熱波の増加が挙げられます。熱波の頻度と勢いは気候変動によりインドでは増すばかりです。熱波の日数は増加傾向にあり、日中のみならず夜間も気温が上昇しています。インドでは気温が1901年から2018年にかけて0.7度上がりました。2023年5月には厳しい熱波により51度を記録しています。これにより夏休み、また学校再開の時期に影響が出ています。通常は3月に夏休みが始まり、4月の最終週に学校を再開していますが、昨年はこの異常な酷暑のため、すべての学校に対して学校再開を6月第1週に変更するようにと要請がありました。もしこの様な状況が数年続くようであれば、わたしたちの学校の学年暦も変更せざるを得なくなるでしょう。

2023年から2024年にかけては、先生方による努力とスタッフの運営により生徒たちの学力は飛躍的に成長し、課題活動においても目を見張るものがありました。通常の教科以外にも生徒のためにダンスクラスやヨガクラスを行いました。また、2023年度は昨年と同様、学校から教科書、ノート、制服、服、靴、靴下、ネクタイ、ベルト、学校カバン、セーター、冬用帽子、ペン、鉛筆、クレヨン、朝食を無償で提供しました。また、今年は国民の祝日とされる独立記念日、共和国記念日は学校で保護者も一緒にお祝いしました。

2022年年度にプリ・キンダーガルテンスクールでは25名が卒業し、2023年年度に25名が入学しました。入学許可が下りると、2組の制服、ベルト、靴、靴下、ネクタイ、学生証、学校カバンを75名の全生徒に無償で支給しました。翌週には新しい教科書、ノート、ペン、鉛筆、クレヨン、色鉛筆、自由帳、学校日記帳をすべて無料配布しました。

先生の日 (ティーチャーデー) と子どもの日のお祝いは、学校で2023年9月5日と2023年11月14日にそれぞれお祝いしました。これらの日にはダンスなどのカルチャープログラムが子どもたちによりなされ、特別なお菓子が生徒たち、先生、他のスタッフにふるまわれました。

毎年行っている運動会を2024年1月13日にプリ・キンダーガルテンスクールのナオミ・ビルディングの前庭で行いました。子どもたちは様々な徒競走、スプーンと芋レース（スプーンに小さな芋を乗せて口でくわえて芋を落とさずにゴールまで一番に行くもの）、カエル飛び競争、バケツにボールを入れる競技、チョコレート・レースに、いす取りゲームなどで楽しみました。運動会の最後には生徒たちのお父さんたちが、スプーンと芋レースに参加し、お母さんたちは、いす取りゲームに参加しました。

毎年恒例のピクニックは2024年2月3日にナオミ・ビルディング キャンパスで行いました。7時半の朝食に始まり、午後2時の昼食で終わりました。子どもたちは室内外の遊びを楽しみ、歌ったり踊ったりしてアイスクリームやお菓子も楽しみました。

クリスマスは2023年12月22日、クリスマス休みに入る前日に学校で祝いました。このお祝いの日のために特別に作られたケーキを子どもたちが切り分け、子どもたちと職員に配りました。ケーキの後はサンタクロースが登場し、子どもたちと一緒にしばらく踊ってから、クリスマスプレゼントを子どもたちに配りました。終わりに特別なお菓子、ケーキ、キャンディーが子どもたちや職員に渡されました。

プリ・キンダーガルテンスクール創立記念日を2024年2月17日に祝いました。プリのビートルリックス (Beatrix) 高校の校長、カトリックのバプテスト・ドゥスーザ(Baptist D'souza)神父が主賓として招かれ列席してくださいました。お祝いは、お祈りで始まり子どもたちと先生方がオープニングソングを歌いました。主賓の祝辞の前に校長先生から学校の年次報告がされました。祝辞の中では、このように町の“助けを必要とする”子どもたちに無償で良い教育を提供するため学校が尽力したことに対して賛辞が述べられました。式典の後に生徒たちは素敵なカルチャープログラムを披露し、参加者は大いに楽しみました。

その他にわたしたちの学校では植物の栽培を学ぶ機会を提供しています。この活動を通して子どもたちは幼少期から自然を愛することを学びます。また、定期的に、コンピューターを使ったマルチメディアとダンスのクラスを子どもたちのため行なっています。

2023年から2024年の間、わたしたちは大変厳しい状況に置かれ、その状況は現在も進行中です。これは現在、インドで顕著な「変化」の時を迎えているからです。他の多くの国内にある団体と同じく、わたしたちの学校も国外からの寄付を禁止されていますが、そのような措置の取られた明確な理由は開示されていません。そのような理由で、活動を継続することが困難になってきていますが、この状況が一刻も早く変わることを願っています。皆さんもどうぞ、このことをおぼえて、お祈りください。

妻のチャルシュリー（ブルブル）と、娘のディビア（チュッキ）が、今年5月に訪日を予定していることを喜びをもってお知らせしたいと思います。妻にとっては日本を訪れることが長年の夢であり、神さまのお護りによりこのことが実現することを喜んでいます。

松本素代美さん、小林洋一先生はじめ何人かの方々が日本での滞在と訪問先などのお世話をしてくださることに感謝しています。

最後に、お願いがあります。どなたかお知り合いに里親として加わることで、わたしたちの働きを助けてくださる方がおられましたら、どうぞ里親の会代表の松本素代美さんに連絡をお願いいたします。郵便番号852-8132 長崎市扇町28-18 電話090-7925-3703 メールは taiyo-hoshi@tune.ocn.ne.jp です。

子どもたちとスタッフ全員から皆さんに愛と敬意を込めて、くれぐれもよろしくとのことです。神が皆さんとご家族を祝福してくださいますように。

ディレクター
S.K.モハンティ

住所： Christian Organization for Development and Education
Naomi Building, Station Road,
Puri 752002, Odisha
India

※文具などを送った場合、課税されることが増えてきたとのことで、今しばし、文具の送付は控えて欲しいとのことです

メール：childrenshomepuri9@gmail.com

電話： +91-8114996370